

令和6年度野々市市議会高校生議会 会議録



野々市市議会

■日時

令和6年7月26日（金）午後2時30分から午後4時03分まで

■出席者

（高校生）

石川県立野々市明倫高等学校

1番 土屋美音議員、2番 中山実優議員、3番 橋本優菜議員、
4番 笹川隼平議員、5番 佐野心音議員、6番 碓井友香議員、
7番 橋本早矢議員、8番 細川心議員、9番 市村美咲議員、
10番 酒谷奏海議員、11番 表聖夏議員、12番 松原歩加議員、
13番 毛利妃奈子議員、14番 才木悠生議員、15番 村本泰雅議員

（野々市市議会議員）

岩見博議員、中村義彦議員、西本政之議員、安原透議員、北村大助議員、
向田誠市議員、小堀孝史議員、朝倉雅三議員、梅野智恵子議員、畠中勝己議員、
田中陽子議員、西村雅博議員、中村和流議員、木谷直子議員、三納昭博議員

（野々市市長）

栗貴章市長

開 会

7月26日午後2時30分開会

○北村大助議長 これより令和6年度野々市市議会高校生議会を開会いたします。

私は、野々市市議会議長を務めております北村大助と申します。

よろしくお願いいたします。

議 長 挨 拶

○押田浩三議会事務局長 議会事務局長の押田と申します。

初めに、主催者を代表いたしまして、北村大助議長が御挨拶を申し上げます。

〔北村大助野々市市議会議長登壇〕

○北村大助野々市市議会議長 石川県立野々市明倫高校の15名の皆さん、ようこそ野々市市議会へお越しいただきました。心から歓迎を申し上げたいと思います。

また、公務御多用の中、栗貴章野々市市長にも御臨席をいただいております。重ねて御礼を申し上げたいと思います。

今日の高校生議会は、昨年より野々市市議会15名の議員で協議を重ね、本日を迎えることができました。重ねて、石川県立野々市明倫高校の皆さんには厚く感謝と御礼を申し上げたいと思います。

この高校生議会は、主権者教育の一環として、また、開かれた野々市市議会を目指して、このような形をとることができました。皆さんは、まだ選挙権、被選挙権を有しておりませんが、一人の国民であり、一人の県民であり、そして一人の市民でもあります。私たち野々市市議会は、そういった一人一人の市民の声を聞く貴重な場だと思っております。どうぞ今日1日が皆さんにとって実りのある1日でありますこと、そして私たち市議会にとっても、皆さんの貴重な意見、発言を楽しみにいたしておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

結びに、石川県教育委員会、石川県立野々市明倫高校の校長先生はじめ教職員の皆様、そして野々市市教育委員会、野々市市に御協力いただきましたことを重ねて御礼申し上げまして、一言開会の御挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

出 席 者 の 紹 介

○北村大助議長 続きまして、高校生議員、市長、市議会議員の紹介に移ります。

○押田浩三議会事務局長 それでは初めに、高校生議員の御紹介をいたします。議席番号順にお名前をお呼びいたしますので、返事をして、起立をし、礼をして、着席をしてください。

石川県立野々市明倫高等学校、1番 土屋美音議員、2番 中山実優議員、3番 橋本優菜議員、4番 笹川隼平議員、5番 佐野心音議員、6番 碓井友香議員、7番 橋本早矢議員、8番 細川心議員、9番 市村美咲議員、10番 酒谷奏海議員、11番 表聖夏議員、12番 松原歩加議員、13番 毛利妃奈子議員、14番 才木悠生議員、15番 村本泰雅議員。

以上で、高校生議員の御紹介を終わります。

続きまして、市長、市議会議員の御紹介をいたします。順にお名前をお呼びいたしますの

で、その場で御起立をお願いいたします。なお、市議会議員につきましては、先ほど御挨拶を申し上げました北村大助議長以外のお名前をお呼びいたします。

栗貴章市長、岩見博議員、中村義彦議員、西本政之議員、安原透議員、向田誠市議員、小堀孝史議員、朝倉雅三議員、梅野智恵子議員、畠中勝己議員、田中陽子議員、西村雅博議員、中村和流議員、木谷直子議員、三納昭博議員。

以上で、市長、市議会議員の御紹介を終わります。

一 般 質 問

○北村大助議長 それでは、これより一般質問を行います。

通告を受けておりますので、順次発言を許します。

1 番、土屋美音議員。2 番、中山実優議員。3 番、橋本優菜議員。

〔土屋美音議員、中山実優議員、橋本優菜議員登壇〕

○北村大助議長 1 番、土屋美音議員。

○土屋美音議員 野々市明倫高校です。よろしくお願いします。

まず、私たち高校生に野々市の行政を知る貴重な機会を提供してくださり、心から感謝しております。

私たちは、野々市市の問題について質問させていただきます。

資料を準備させていただきましたので、そちらも御覧ください。

資料1を御覧ください。

北鉄バスとのっティのバスの大きさが、のっティのほうが一回りぐらい小さいことが分かります。そのことから、登下校時は特にバスがすぐにいっぱいになってしまい、乗れないことがあるので、のっティのサイズを大きくしてほしいという声が上がりました。少しのっティのサイズを大きくしてくれたら、利便性が向上すると思います。

○北村大助議長 西本政之さん。

〔西本政之登壇〕

○西本政之 土屋議員の御質問にお答えいたします。

コミュニティバスののっティについての御質問、ありがとうございます。

明倫高校の皆さんには、日頃より、野々市市のコミュニティバスののっティ並びにシャトルバスのんキーに御乗車いただき、誠にありがとうございます。

コミュニティバスののっティは、地域間の移動を促し、住民活動の活性化を図るため、交通の不便な地域から鉄道の駅や公共施設への交通手段を提供することを主な目的として運行しています。全ルート、細かい道も通りながら、市内全域を網羅しています。全てのルートにおいて1周60分、平日は1日当たり14便の運行で、通勤や通学など多くの方の御利用をいただいています。特に、朝の時間帯や冬の降雪時など悪天候の際には利用者が多くなる傾向にあります。

議員御提案のバスの大型化についてでございますけれども、のっティは、先ほども申しましたとおり、道路の幅の狭いところも通行いたします。大型化することによって、通行できなくなる道が出る可能性がございます。運行に支障を来すことから、現状は厳しいと考えています。

御提案いただいた貴重な御意見については、今後どのような解決策があるか、公共交通の利

便性の向上を図る上で参考とさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○北村大助議長 2番、中山実優議員。

○中山実優議員 資料2を御覧ください。

雨の日に道路に大きな水たまりができていることが分かります。そのことから、歩道を整備して平らにし、水たまりができないようにしてほしいとの声が上がりました。大きな段差は、けがの要因にもなりかねません。歩道の整備が必要だと思います。

○北村大助議長 三納昭博さん。

〔三納昭博登壇〕

○三納昭博 中山議員の御質問にお答えさせていただきます。

歩道に関する御質問をいただき、ありがとうございます。

本市は、昭和41年から順次、土地区画整理事業によって市街地が拡大してきました。市街地の拡大に伴い、市が管理する道路も増え、令和5年度末で約28万7,000キロメートルとなっております。

道路は、整備した当時の新しい状態がいつまでも続くわけではなく、年数がたつにつれ、舗装にもひび割れやくぼみができ、側溝も蓋ががたついてくるなど、次第に老朽化していきます。そのため、本市では、市内全域の道路について状況を確認した上で優先順位を決め順番に修繕工事を行っています。

今回御指摘をいただきました水たまりの場所につきましては、昨年度から状況を確認しておりまして、今年度中に修繕工事を行う予定となっております。

以上であります。

○北村大助議長 3番、橋本優菜議員。

○橋本優菜議員 資料3を御覧ください。

この資料にありますとおり、野々市市に住む子どもの人数が増加傾向にあります。そのことから、野々市市の中学校が少なく、教室に生徒が入り切らないのではないかと問題が上げられました。野々市市ではどのようにお考えでしょうか。

○北村大助議長 木谷直子さん。

〔木谷直子登壇〕

○木谷直子 本市中学校の将来の生徒数の増加を見込んだすばらしい御質問、本当にありがとうございました。

野々市市に住む子どもの人数が増加傾向にあり、中学校が少ないため、教室に生徒が入り切らないのではないかと御質問をいただきました。

各中学校における生徒数の推移予測を見ますと、野々市中学校については、令和6年度をピークに減少傾向に転じる見込みとなっております。

一方で、布水中学校については、ここ数年は増加する傾向にあります。

そのため、現在、布水中学校では、将来の生徒数の増加に伴う教室不足に対応するため、令和5年度から増築工事を実施しており、間もなく完成する予定となっております。

本市では、これまでも生徒数の増加に伴う教室不足につきましては、増築工事や既設教室の改修工事などを行うことにより解消してまいりました。

今後も、生徒数の推移を見極めながら、適切に対応してまいりたいと考えております。

○北村大助議長 1 番、土屋美音議員。2 番、中山実優議員。3 番、橋本優菜議員。

○土屋美音議員 御答弁いただき、ありがとうございました。

○北村大助議長 4 番、笹川隼平議員。5 番、佐野心音議員。6 番、碓井友香議員。

〔笹川隼平議員、佐野心音議員、碓井友香議員登壇〕

○北村大助議長 4 番、笹川隼平議員。

○笹川隼平議員 本日は、議会に参加する機会をいただき、ありがとうございます。

野々市市のホームページより、野々市市の水道水は、おいしい水の要件 7 項目のほとんどを満たしていることを拝読させていただきました。

おいしい水の要件 7 項目については、資料 1 を御覧ください。

蒸発残留物など 7 項目については、資料 1 のような要件が定められています。

次に、資料 2 を御覧ください。

私たちのクラスで冷水機の水についてアンケートを実施したところ、約 40% の人が野々市市の水が口に合わないと回答しました。

そのため、野々市市の現状の水質について、これからの改善方針などがありましたら教えていただけますでしょうか。

○北村大助議長 中村和流さん。

〔中村和流登壇〕

○中村和流 笹川議員の御質問にお答えさせていただきます。

野々市市の水道水についての御質問をいただき、ありがとうございます。

まず、本市の水道について御説明させていただきます。

本市の水道水の 82% は井戸水です。残り 18% は、手取川の水を浄化した水を石川県飲料水供給事業より受水しております。

明倫高校がある下林地区に関しては、南部・北部浄水場の配水エリアに位置しており、当浄水場で言いますと、73% が井戸水という状況にあります。

また、市内には東部浄水場という施設があり、こちらは 100% 井戸水となっております。

次に、水質について説明させていただきます。

水道水は、水道法により水質が厳しく定められております。

野々市市の水源である井戸水は、そのまま飲用することも可能なほど清浄な水質で、その地下水に次亜塩素酸ナトリウム、いわゆる塩素を混ぜ、水道水として利用しています。例えて言うならば、本市水道事業が販売しているペットボトルの水があります。このペットボトルの水は、本市高橋町にある第 5 号水源から採水したものです。この水に、水道法に適法するために塩素を加えていると思っていただければよろしいかと思います。

今回していただいた調査で 40% の方が口に合わない、どちらかというと合わないという結果が出ております。

水の味で多く感じるのが塩素ではないかと考えられます。水道法では 1 リットル当たり 0.1 ミリグラム以上と示されております。

本市においては、水道配水管の末端で残留塩素が 1 リットル当たり 0.2 ミリグラムを下回らないように調整を行っております。この値は、ほかの上水道と比較しても低いほうの値だと考

えております。

なお、今回サンプルに御利用されたのは、校舎内の冷水機とのお話でした。

明倫高校などの大きな施設の多くには、受水槽という水を一旦貯水するための施設が設置されております。これは、一度に多くの水を使用すると道路等に埋設されている水道配水管の許容量が不足し、周囲の水道利用者に水圧低下などの影響が出ることを低減するために設置してあるものです。このような受水槽に貯められた水や温水器などを通った水は、一旦水圧がかからない状態で貯められ使用するまでにある程度の時間がかかることや加熱などにより、多少なり水質が変化することがあります。水道配水管から直接つながっている蛇口でしばらく水を出した後でお試しいただければと思います。

御質問の野々市市の水質とこれからの改善方針についてですが、さきにお話しさせていただきましたが、本市の主な水源は霊峰白山を源とする地下水であり、水質は大変よいものだと考えております。また、おいしい水の要件から見ても、決してほかに引けを取らないと考えておりますことから、現状を維持していくことが最善と考えております。

今後も、皆さんに安心して御利用いただける水道水を供給してまいりますとともに、このきれいな地下水を皆さんとともに守っていかなければならないと思っております。

○北村大助議長 5番、佐野心音議員。

○佐野心音議員 まず、資料を御覧ください。

地図中の赤い丸で示されているとおり、現在の野々市市にある交番の数は3か所のみとなっております。

野々市市の令和6年度の犯罪認知件数総数は135件、また、認知数総数は88件でした。これにより、何と47件もの犯罪が見過ごされていることが分かります。

僅か3か所の交番では、犯罪を増やすことはなくても犯罪が減るとは思えません。交番の数についてどのようにお考えでしょうか。交番を増やすことで犯罪の取締りが強化されると考えられます。

○北村大助議長 西村雅博さん。

〔西村雅博登壇〕

○西村雅博 佐野心音議員の質問に答弁させていただきます。

交番の増設に関する御質問をいただきました。ありがとうございます。

野々市市内の交番の数についてでございますが、平成10年までは野々市交番1か所のみでありましたが、人口の急増、犯罪や交通事故の発生状況など、市民の安全確保の必要性から、平成11年に野々市南交番を、平成26年には野々市北交番が新設されました。現在は、市内に3か所設置されております。

今回御提案いただいた交番の新設についてであります。警察が担当しており、建設費や維持管理費など多くの経費がかかることに加え、交番に配置する警察官の確保が必要となっております。このようなことから、交番を新設するには、野々市市だけでなく、石川県全体の警察官の定員数や配置の見直しについても検討することになります。

市内の事件や事故を減らすためには、交番の数を増やし、警察の取締りを強化していくことは1つの方法だと思いますが、あわせて、犯罪や事故に遭わないこと、事件や事故を未然に防止することも非常に重要であると考えております。

こうしたことから野々市市では、市民の方々やボランティア団体の防犯協会、交通安全協会及び交通安全推進隊と連携し、防犯キャンペーンや交通安全キャンペーンなどの活動を行っております。

今後も、関係団体と協力しながら、犯罪や事故のない安全で安心なまちづくりを目指し、取り組んでまいりたいと思います。

○北村大助議長 6番、碓井友香議員。

○碓井友香議員 まず、資料を御覧ください。

資料の中央、明倫通りと書かれた文字の下にある明倫高校前と公園の駐車場をつなぐ横断歩道があるのですが、車の運転手が歩道を渡ろうとしている生徒に気づかず通ってしまうときがあり、警察に注意されている様子が見られます。歩行者に気づいているのに、信号機がないからといって車が通っている可能性も考えられます。今後、警察に注意されるだけでなく、本当に事故が起こってしまったら大変危険だと思われます。

このような理由から、そこに信号機を設置していただきたいと思っています。信号機が設置されたら事故のリスクが減少するし、歩行者にとっても車の運転手にとっても安全でいいことだと思います。

○北村大助議長 田中陽子さん。

〔田中陽子登壇〕

○田中陽子 碓井議員の御質問にお答えいたします。

市の交通安全対策に関し、信号機の設置についての御質問をいただき、ありがとうございます。

御指摘の明倫高校前の横断歩道については、多くの生徒が朝夕の登下校時にこの横断歩道を通行しようとしても、走行中の車がなかなか止まってくれないということを伺っております。

また、地域の方からも信号機の設置についての御意見を伺っておりますので、信号機の新設については、今後も明倫高校や地域の方々と協議し、必要に応じ、警察に新設の要望を行ってまいりたいと考えております。

市といたしましても、交通安全協会の交通安全教室や交通安全推進隊の街頭指導を通じて、歩行者を守る運転の徹底を呼びかけてまいりたいと考えております。

○北村大助議長 4番、笹川隼平議員。5番、佐野心音議員。6番、碓井友香議員。

○笹川隼平議員 御答弁いただき、ありがとうございました。

休 憩

○北村大助議長 この際、暫時休憩いたします。再開は午後3時15分といたします。

午後3時04分休憩

再 開

午後3時15分再開

○北村大助議長 休憩前に引き続き会議を開きます。

一 般 質 問 （ 続 ）

○北村大助議長 7番、橋本早矢議員。8番、細川心議員。9番、市村美咲議員。

〔橋本早矢議員、細川心議員、市村美咲議員登壇〕

○北村大助議長 7番、橋本早矢議員。

○橋本早矢議員 本日は、このような貴重な機会を設けていただき、ありがとうございます。

最初に、私たちは来来亭の近くにある歩車分離信号について質問させていただきます。

写真を御覧ください。こちらの交差点です。

次に動画を御覧ください。

私たち野々市明倫高校では、一定数の生徒がこの通路を利用して、自転車通学の人と歩行者が交差する際に衝突する危険性があります。野々市市として、どのように認識されているのでしょうか。

○北村大助議長 畠中勝己さん。

〔畠中勝己登壇〕

○畠中勝己 橋本早矢議員の質問に答弁させていただきます。

ただいま歩車分離式信号機についての御質問をいただき、ありがとうございます。

野々市中学校南側で多くの児童生徒が通行する三納交差点では、通常の信号機と異なる歩車分離式信号機が導入されています。

歩車分離式信号機については、歩行者と車が同時に通行することがなく、それぞれの通行する時間を分けるという特徴があります。すなわち、車を完全に赤信号で止めた後に、歩行者の信号機が青になるということになります。これによりまして、巻き込み事故が減るなど、歩行者の安全を確保する面で非常に有効なものであります。

なお、この三納交差点の歩行者用信号機は、歩行者・自転車専用の標示があることから、自転車は、この信号機に従って通行するとともに、歩行者が通行していた場合は自転車を降りて通行することとなっております。

また、自転車は、道路交通法では軽車両に位置づけられ、車の仲間となっていることから、歩行者の通行を妨げてはならないと定められております。

自転車と歩行者の接触事故防止のためには、正しい交通ルールを、より多くの方に理解し、実践してもらうことが大変大切であると考えております。

市といたしましては、交通安全協会や交通安全推進隊の活動を通じて、自転車に係る交通ルールの周知を図るとともに、自転車事故を抑止するため、今後もこういった取組をより一層推進してまいりたいと考えております。

以上で答弁を終わります。

○北村大助議長 8番、細川心議員。

○細川心議員 次に、野々市市の住みよさランキングについて質問させていただきます。

野々市市は、東洋経済が毎年出している全国住みよさランキングで毎年上位にランクインしています。

住みよさランキングとは、住みよさを表す指標について偏差値を算出して、その平均値を総合評価として順位づけしているものです。順位づけの項目は、安心度、利便度、快適度、富裕度の4つの観点から成る20項目です。

2019年から2023年の過去5年間で、野々市市はほぼ毎年1位を取っていましたが、今年の6

月に発表されたものでは、例年の順位を下回って14位までランクダウンしています。1年で1位から14位まで大幅に順位が下がった理由をどのようにお考えでしょうか。また、来年には野々市市が上位にランクインするために考えている策はありますか。

○北村大助議長 梅野智恵子さん。

〔梅野智恵子登壇〕

○梅野智恵子 細川議員の御質問にお答えさせていただきます。

住みよさランキングについての御質問をいただき、ありがとうございます。

今年6月に公表された住みよさランキングで、野々市市は14位となり、昨年の1位からランクダウンという結果となりました。

順位が下がった理由ですが、順位をつける際に用いている住みよさを表す指標におきまして、今回から介護保険に関係する施設の介護医療院に関する事項が追加されたことが1つの要因となったと考えております。今回、介護医療院が立地している自治体が順位を大きく上げる一方で、これまでランキングの上位に入っていた石川県内の自治体がトップテンから外れる結果となりました。したがって、順位が下がる結果となったのですが、野々市市をはじめ石川県内の自治体の住みよさが下がったというよりも、今回の指標の見直しがほかの自治体において順位を上げるプラスの要素になったことで順位が逆転したと分析しております。

そのほか、住みよさランキングを構成している分類の1つであります快適度の指標となっている転入者と転出者の人数を比較した割合を示す転出入人口比率について、野々市市は比率が若干の減少にとどまったものの、ランキング上位の自治体の比率が大幅に増加したことから、相対的に順位が下がったこともランクダウンの要因につながっております。

来年、野々市市が上位にランクインするために考えている対策についての御質問ですが、住みよさランキングの結果は、今回の結果でも分かるとおり、指標が変更されることで順位も大きく変わることから、住みよさランキングの結果に左右されることなく、現在、野々市市が進めている第二次総合計画に基づくまちづくりを着実に進めていくことで、市民がより住みよさを実感していただけるよう取り組んでいくことが大事であると考えております。

以上でございます。

○北村大助議長 9番、市村美咲議員。

○市村美咲議員 最後に、野々市市の街灯などの整備について質問させていただきます。

資料1を御覧ください。

私たちは、野々市明倫高等学校に通う際に、私たちを含め多くの生徒が野々市明倫高等学校から南ヶ丘病院までの通路を利用しています。

次に資料2を御覧ください。

先ほどの資料の赤線で示した通路の様子を見ていただくと、田んぼ道のため街灯が少なく、下校時には暗くなり車も通るため危険だと感じました。

野々市市の口コミについて見てもらうと、歩道が狭く、夜になると街灯が少ないため暗い場所が多いと言われています。

そのため、この通路に街灯の設置をお願いします。

○北村大助議長 朝倉雅三さん。

〔朝倉雅三登壇〕

○朝倉雅三 市村美咲議員から、街灯についての御質問をいただき、誠にありがとうございます。

道路を照らす街灯には、大きく分けて2つの用途があります。

1つは、主要な道路の交差点を照らす道路照明灯で、市道であれば市、県道であれば県、国道であれば国が、それぞれ設置・管理しております。

もう1つは、防犯のために暗い夜道を照らす防犯灯であります。各地域の町内会が、それぞれ町内会費で設置・管理しております。

御要望の街灯の設置につきましては、防犯灯の扱いとなるため、地元町内会が判断することになります。市の補助制度の活用も含めまして、今後、町内会に働きかけていければと思っております。

○北村大助議長 7番、橋本早矢議員。8番、細川心議員。9番、市村美咲議員。

○橋本早矢議員 御答弁ありがとうございました。

○北村大助議長 10番、酒谷奏海議員。11番、表聖夏議員。12番、松原歩加議員。

〔酒谷奏海議員、表聖夏議員、松原歩加議員登壇〕

○北村大助議長 10番、酒谷奏海議員。

○酒谷奏海議員 本日は、お忙しい中、このような時間を設けていただき、ありがとうございます。

野々市市のこれからのまちづくりについて御質問させていただきます。

野々市市では、今でもたくさんの魅力や地域ならではの活動等がありますが、これから先どのようなまちづくりをしていこうと検討されていますか。また、なぜそれを検討しようと思ったのですか。お答えできる範囲で教えていただきたいと思います。よろしくお願いします。

○北村大助議長 小堀孝史さん。

〔小堀孝史登壇〕

○小堀孝史 今回、酒谷奏海議員より、今後のまちづくりという難しい御質問をいただき、ありがとうございます。

野々市市は、令和4年4月からスタートした第二次総合計画に基づき、まちづくりを進めています。

第二次総合計画では、実現したい野々市市の将来都市像を「かがやき無限大 みんなでつくる インパクトシティののいち」と定め、将来都市像の実現のために、様々な政策・施策に取り組んでおります。

また、第二次総合計画では、まちづくりを進める上で大切にしている基本姿勢の1つに「野々市ファンの拡大」を掲げています。野々市ファンとは、野々市市に関わりを持ち、野々市市を応援してくれる方のことを指します。野々市市に愛着を持ってもらい、様々な機会を通じて野々市市を応援してくれる野々市ファンを増やして、まちづくりにも参加していただくなど、つながりを持続してもらうことで、野々市市が輝きあふれる魅力的なまちにつながっていくと考えております。

このような将来都市像や基本姿勢を掲げてまちづくりを進めようと考えた理由ですが、皆さんも御存じのとおり、日本全体で人口が減少している中で、これからも野々市市が発展していくためには、行政だけでなく、市民や大学、企業などがみんなで連携して、無限大の可能性を

持っている野々市の魅力を磨き上げて、住んでいてよかった、住んでみたい、野々市市で活躍したいと思ってもらえる輝きあふれる野々市市をつくっていくことが必要と考えたからです。

ぜひ明倫高校生の皆さんには、高校卒業した後も野々市市に愛着を持ち、野々市ファンとして野々市市を応援してもらえたら大変うれしく思っております。

以上です。

○北村大助議長 11番、表聖夏議員。

○表聖夏議員 本日は、お忙しい中、このような時間をいただけること、感謝いたします。

私は、総合的な探究の時間の中で野々市市について学ぶたび、公園の多さや利便性など、その魅力の多さに驚かされます。魅力が多いことは、様々な人に好かれやすい野々市市の強みであると考えます。が、野々市市としては、市の一番の魅力は何であると考えていますか。また、なぜそれが一番の魅力であるとするのかを教えていただきたいです。

○北村大助議長 向田誠市さん。

〔向田誠市登壇〕

○向田誠市 表聖夏議員より、野々市市の一番の魅力についての御質問をいただき、ありがとうございます。

野々市市の一番の魅力は、暮らしやすく、若者が多いことだと考えています。

このことが野々市市にとって一番の魅力と考えている理由は、市民を対象にアンケート調査を実施したところ、子どもから高齢者まで安心して暮らすことができる、子育てしやすいなど、暮らしやすいまちだと感じている人の割合が高かったことが大きな要因です。

そのほか、住みよさの指標で順位をつけました住みよさランキングや居住満足度調査を集計した街の住みこちランキングなど、民間企業が公表する評価において野々市市が上位にランクインしていることから暮らしやすさが魅力であると言えます。

次に、令和2年の国勢調査で24歳までの人口の割合が日本全国の平均や東京都の割合よりも高く、若者が多いことも野々市市の大きな魅力であります。野々市市は、若者が多いことから活気があるまちと言われています。民間企業や事業を営む人が若者が多い環境に着目して、お店や事業所などの建設が増えてきたこともあり、市民にとっては、生活する上で利便性が高く、暮らしやすい環境につながってきたと考えております。

野々市市の一番の魅力については、住んでいる方や通勤・通学されている方のライフスタイルなどで捉え方や感じ方は異なると思います。

また、ふだん当たり前に生活し、気にも留めない野々市市の暮らしにおいても、市外や県外に住んでいる人から見てみますと、非常に羨ましいと思われる環境や魅力があるのではないかと考えています。

明倫高校の皆さんにも、野々市市の一番の魅力を見つけていただいて、アピールしていただくことで、さらに野々市市の魅力に磨きがかかることにもつながると思っておりますので、ぜひ御協力をお願いしたいと思います。

以上で答弁を終わります。

○北村大助議長 12番、松原歩加議員。

○松原歩加議員 このたびは、お忙しい中、このような貴重なお時間をいただき、ありがとうございます。

野々市市と白山市を結ぶバスのんキーについて御質問させていただきます。

以前、のんキーを利用させていただいた際に、バスの運行時間が2時間も空いているので、どの便に乗るにしても時間調整が難しいと感じたことがあります。

資料を御覧ください。

資料を作る都合上、のっティの時刻表が全てを載せられず分かりづらくなってしまいました。が、のっティの便数は14便あります。そして、バスが1時間ごとに来ることが資料から分かります。

一方、のんキーは7便で、2時間に1本ということも読み取れます。

そこで、のんキーも14便にし、1時間ごとに1本の頻度にするすることで、統一感が出ることから利用者にとって分かりやすく予定が立てやすいと考えました。

100円で利用できるバスはとても魅力的なので、利用者にとって本数が増えることは需要があると思っています。

以上、よろしくお願いします。

○北村大助議長 安原透さん。

〔安原透登壇〕

○安原透 松原歩加議員の質問にお答えをいたします。

今回、シャトルバスのんキーに関する御質問をいただき、ありがとうございます。

シャトルバスのんキーは、野々市市内から公立松任石川中央病院へのアクセス強化を目的として、平成24年3月1日から運行を開始をいたしました。運行当初は1日5往復でしたが、ダイヤ改正を重ね、現在は1日7往復で運行を行っております。

議員御提案ののんキーの増便についてでございますが、14便に増便するためには、のんキーの新たな車両の購入や燃料費、車両修繕費、運転手の人件費などの経費が増加することに加え、昨今の各種報道にもございますが、バスの運転手不足が問題となっていることもあり、運転手の確保が難しいなどの観点から、現状考えてはございません。

しかしながら、さきに御質問いただきましたコミュニティバスののっティへの御意見、そして、今ほど御質問いただきましたシャトルバスのんキーに対しての御意見につきましては、公共交通の利便性の向上、また、利用者の増加にもつながる貴重な御意見でもございますので、大いに参考とさせていただきたいと思います。

○北村大助議長 10番、酒谷奏海議員。11番、表聖夏議員。12番、松原歩加議員。

○酒谷奏海議員 丁寧な御回答ありがとうございました。

○北村大助議長 13番、毛利妃奈子議員。14番、才木悠生議員。15番、村本泰雅議員。

〔毛利妃奈子議員、才木悠生議員、村本泰雅議員登壇〕

○北村大助議長 13番、毛利妃奈子議員。

○毛利妃奈子議員 本日は、このような質問を行う機会をいただき、ありがとうございます。

私たち3名は、主に学校生活を送っている上で感じたことについて意見・質問を述べさせていただきます。

最初の質問は、自転車が行く通路を整備していただきたいということです。

野々市明倫高校の約7割の生徒が自転車通学をしています。ですが、野々市市には自転車が走行する道がなく、現在、自転車で登下校をする際、歩道または自動車用道路を走っていま

す。

しかし、自転車用通路がないことは、多大な事故につながる可能性があります。歩行者や自動車と接触したりする危険性を極力避けるためにも、このような通路を舗装していただきたいと思います。

○北村大助議長 西本政之さん。

〔西本政之登壇〕

○西本政之 毛利妃奈子議員の御質問にお答えいたします。

自転車用通路の整備に関する御質問をいただきました。ありがとうございます。

野々市市には、自転車専用の道路はございませんが、木呂川や林口川などの川沿いに整備された自転車・歩行者道のほか、市役所が面する本町新庄線や明倫高校が面する堀内上林線など普通自転車歩道通行可の標識が設置されている歩道では、自転車で通行することができます。

また、主要な幹線道路におきましては、なるべく路肩幅を広めることなど、できる限り自転車が安全で快適に通行できるよう、整備を進めているところです。

通学で自転車を運転する際には、道路交通法を守っていただき、歩行者を含めた周囲の状況に対して常に気を配りながら、安全運転に努めていただくようお願いいたします。

今回いただいた貴重な御意見を参考にしながら、安全・安心に通行できる自転車の通行環境について今後も調査研究していきますので、よろしくお願いいたします。

○北村大助議長 14番、才木悠生議員。

○才木悠生議員 私は野々市明倫高校の弓道部に所属しており、ほぼ毎日弓道場を利用させていただいています。

写真2を御覧ください。

現在、弓道場の雨よけ用テントは穴が一部空いており、破れている場所があります。

また、写真1と3を御覧ください。

フレームのさびがとてもひどく、さびの影響により崩れ、一部フレームがない部分があります。

今後、台風や暴風などが起こった場合、テントが外れ、最悪の場合、弓道場の外壁ごと飛ばされてしまい、練習ができなくなってしまう可能性があります。そのため、弓道場の雨よけ用テントのほうを修繕していただきたいです。

○北村大助議長 中村義彦さん。

〔中村義彦登壇〕

○中村義彦 才木悠生議員の一般質問にお答えをいたします。

今回、このような質問をいただいたこと、また、野々市明倫高校弓道部の皆様には、日頃より野々市市の弓道場を御利用いただきまして、ありがとうございます。

市では、市内スポーツ施設において、日々の施設巡回による点検や施設を利用する各競技協会などの報告により修繕の必要な箇所を把握し、破損状況に応じて優先順位を決め修繕を行っております。

御指摘の弓道場の雨よけ用テントの破損状況においては、野々市市弓道協会の報告により把握をいたしております。ただいま、修繕に向け準備を進めているところでございます。

今後とも、各施設の破損箇所などを随時修繕して、台風や暴風などにより事故が起きないよ

う、また、利用者が各施設を安心して安全に快適に利用していただけるよう努めてまいります。

○北村大助議長 15番、村本泰雅議員。

○村本泰雅議員 野々市中央公園について要望があります。

現在、野々市中央公園では、椿まつりなどのイベントが開催されていますが、まち全体でするような大きなイベントが少ないように感じます。

そのため、この公園の大きさを利用して、夏祭りなどといったビッグイベントを増やすことができれば、まちの活性化につながるのではないかと考えているのですが、開催することは可能でしょうか。また、開催することができない理由などがございましたら、その点についてもお答え願います。

○北村大助議長 岩見博さん。

〔岩見博登壇〕

○岩見博 今回、野々市中央公園の活用に関する御質問をいただきまして、本当にありがとうございます。

それでは、村本泰雅議員の質問にお答えいたします。

野々市中央公園は、昭和54年に開設し、面積6.7ヘクタールの本市最大の総合公園であり、多くの市民の方々にスポーツや憩いの場として利用されております。

野々市中央公園は、令和2年3月に国際優秀つばき園として認定され、毎年3月に行われるののいち椿まつりの会場にもなっており、大変多くの方々に来訪いただいております。

そのほか、野々市中央公園周辺をコースとする野々市じょんからの里マラソン大会や市民体育館等の施設を用いての各種大会やイベントといった様々な取組を行っております。

また、現在、既存公園に加え、新たに西側に約9.6ヘクタールを拡張し、総面積を約16.3ヘクタールとする野々市中央公園拡張整備事業を進めているところでもございます。この事業では、スポーツの振興による地域のにぎわい創出、市民と豊かな自然が共生する憩いの空間づくり、地域防災力の向上による安全・安心な拠点づくり、既存施設も含めた公園機能の最適化を基本方針として公園の整備を進めるものでございます。

御要望のイベントにつきましてですが、既存施設の利活用や新たな公園施設、スポーツ施設の整備に併せてイベントを行うことで、まちの活性化にもつながるものと考えております。

市といたしましても、各種イベントを検討していく必要があるものと考えておりますが、若い感性を持った皆さんにも、まちの活性化やにぎわい創出ということに関心を持っていただき、これにつながる様々なイベントの提案をしていただければ、非常にありがたいとも思っております。

よろしくお願いいたします。

○北村大助議長 13番、毛利妃奈子議員。14番、才木悠生議員。15番、村本泰雅議員。

○毛利妃奈子議員 本日は、お忙しい中、このような貴重な機会をいただき、ありがとうございます。

○北村大助議長 これで一般質問を終わります。

市長の感想

○北村大助議長 それでは、栗市長より感想を申し上げます。

〔栗貴章野々市市長登壇〕

○栗貴章野々市市長 今日は、高校生議会、一般質問、明倫高校の皆さん、大変お疲れさまでございました。

皆さんの今日の一般質問、大変すばらしかったなというふうにまず思っています。

そして明倫高校の皆さんには、日頃から野々市市の美化清掃でありますとか挨拶運動とか、また、今日の質問の中にも出てきましたけれども、じょんからの里マラソン大会や、あるいは北国街道野々市の市など、様々な行事やイベント、これらについても御協力、御参加をいただいています。改めて厚くお礼を申し上げたいというふうに思っておりますし、明倫生の皆さんがここ野々市で活躍をいただいている姿っていうのは、野々市の、市にとっても、市民にとっても、大変大きな誇りでもありますし、大きな力強い元気をいただいている、そんなふうに私は思っています。本当に皆さんの日頃からの御活躍に心から感謝を申し上げたいというふうに思っています。

そして、今日の質問ですけれども、皆さんが今申し上げたようにこの野々市の中で様々な活動もしていただき、あるいはまたいろんな皆さんと交流も図っていただく中で、地元に着した、いろいろな質問をいただくことができました。日頃から野々市に様々な関心を持っていただき、また、本当にいろんな人と付き合ったり、いろいろ皆さんが活動をしている、まさにそういう中からのいろんな思いを質問としていただけたこと、大変うれしく思っていますし、今日の質問の中でも、皆さんからの質問と同じような内容の質問を、今日は答弁側に立っていただきましたけれども市会議員の皆さんからも議会でいろいろいただくことがあります。今後の野々市のまちづくりに、そういう皆さんのいろんな声がたくさんたくさん集められることによって、その中から一つ一つ実現されることもあるわけであります。どうか今後もいろいろな思いを私たちに届けていただきますようお願いを申し上げたいというふうに思っています。

そして、今日の質問の中にもありましたけれども、野々市市は今、第二次の総合計画に基づいて今言ったまちづくりを進めています。

「かがやき無限大 みんなでつくる インパクトシティのいち」、この目標に向かって、先ほどの答弁では野々市ファンという言葉が出てきましたけれども、みんなに野々市のことを好きになってもらって、応援してもらって、そしてそういう野々市のファンを多くつくること、そしてそういう皆さんからいろいろな御意見をいただくこと、こんなことが大事だなというふうに思っています。

そして、この野々市ファンということとともに、この総合計画を進める上で大事にしていることが、1つはSDGsの推進ということです。

これについては、皆さんも様々な形で取組や考えをお持ちかなというふうに思っておりますし、もう1つは市民協働のまちづくりということ、こういう考え方でまちづくりを進めています。

皆さんがこの野々市に関心を持ってくださっているように、いろんな皆さんが、この野々市の市民だけでなく、例えば明倫高校に通ってくださっている明倫生の皆さん、あるいは野々市にある会社やいろんな皆さん、関わりのある皆さん、先ほど言った野々市ファンの皆さん

が、一緒にいろんな意見を言ったり、いろんな提案をしていただいたり、そしていろんな野々市のことに参加をしていただいたり、そんなことが市民協働ということだと私は思っています。

そういうふうなまちづくりをこれから野々市進めていきたいなというふうに思っていますんで、明倫高校の皆さんのお力もぜひこれからもいただいでいくことができますようお願いを申し上げたいというふうに思っています。

今日のこの高校生議会、また、貴重な経験というか、1つの経験として、これから皆さんが自分たちの夢に向かって、そして、一生懸命にまた活躍をいただきますように、野々市明倫高校の御発展とともにお祈りをさせていただきまして、私からの感想といいますか、お礼の御挨拶にいたしたいと思います。

今日は皆さん、ありがとうございました。

○北村大助議長 栗市長、ありがとうございました。

副 議 長 挨 拶

○北村大助議長 最後に、主催者を代表いたしまして、安原透副議長が御挨拶を申し上げます。

〔安原透野々市市議会副議長登壇〕

○安原透野々市市議会副議長 野々市市議会の副議長の安原透と申します。

まずは、高校生議員の皆さん、今日は本当にお疲れさまでした。緊張も大変されたかと思いますが、皆さん堂々と質問をいただきました。

今回、この野々市市議会といたしまして、初めてこの高校生議会を開催をさせていただきました。そういった中で、この皆さんには勇気をもって挑戦をいただきました。そのことに心から敬意を申し上げたいと思います。

この高校生議会、選挙権の引下げによりまして、この政治や、そして選挙、また、この議会のこと、こういったことに若い人たちにもっと触れていただく、そういったことが1つ。そして昨年、本市としまして、SDGs未来都市に本市が選定をされました。そういった中で、この市の将来、このまちづくりに対して若い皆さんのお声をもっと反映をしていく、そのことが大切であるというふうに言われております。そういったことも踏まえまして、今回、高校生の皆さんにぜひ御意見をお伺いをしたい、そういった中で、この高校生議会を開催をさせていただきました。

皆さんの質問をお伺いをいたしましたが、大変すばらしい質問ばかりでございました。今回、我々議員が一番刺激を受けていることと思います。皆さんからいただきました質問を真摯に受け止め、そして議会で議論をし、そして議会の活動、そしてまた政策のほうに反映をしっかりとしていきたいというふうにも考えております。

また、今回この高校生議会に当たりましては、明倫高校の校長先生はじめ、先生方には大変快く引受けをいただき、また、御協力、御尽力を賜りました。改めて心から感謝を申し上げます。おかげさまで無事この高校生議会を終えることができます。重ねて御礼を申し上げます。

結びになりますが、この高校生議会が皆様にとって、すばらしい経験となり、そして活動や

学びに生かしていただくことを心から願ひまして、また、この経験が、将来議員になろうかなというふうな、将来そういうことにつながったらいいなというふうにも心から願ひまして、また、皆様方の今後の御活躍を心から御祈念を申し上げまして、閉会に当たりましての御礼の御挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。お疲れさまでした。

○北村大助議長 安原副議長、ありがとうございました。

閉 会

○北村大助議長 以上をもって野々市市議会高校生議会の議事全部を終了いたしました。

これにて会議を閉じます。

令和6年度野々市市議会高校生議会を閉会いたします。

御参加いただきました皆様方、ありがとうございました。

午後4時03分閉会